

【会社訪問】

救急隊.com Kanagawa

企画広報委員会 委員長
株式会社 富士消毒 重岡 雅也

救急隊.com Kanagawa

今回は「救急隊.com Kanagawa」様をご紹介いたします。古川代表にはお忙しい中お時間をいただき、誠にありがとうございました。現在事務所はリニューアル工事中で、仮事務所にてインタビューを行いました。

お約束の時間に駐車場までお迎えくださいました。古川代表とはこれまでムシの日のイベントで何度かお会いしたことがあります。3年前に協会に入会されましたが、特に興味があったのは、以前どのようなお仕事をされていたのか、なぜこの業界に参入されたのかという点です。

もともとは害虫駆除とは無縁のエンターテインメント業界で、パチプロやゲーム関係の仕事をされ、個人で生計を立てていらっしゃいました。その後、知人のハチ駆除会社で事務を担当するようになり、その関係でたまに現場の手伝いもされていたといえます。具体的にはハシゴの補助や、上で駆除作業をする人のフォロー・見守りなどの業務です。

「いつか自分で上の作業をやってみたい」と思ったきっかけは、困っているお客様からの一言でした。「ありがとう、助かったわ」その言葉に報われる思いを感じ、感謝される仕事の良さに気づいたそうです。以前の仕事では直接感謝されることはほとんどなかったため、「人の温かさを肌で感じられる仕事だ」と確信したとのことでした。

そして2020年4月、ついに会社を立ち上げました。

スローガンは「ハチ1本で、ハチ駆除のエキスパートになる」

日々勉強し現場で経験を積みながら、「お客様の求めるひとつ先まで」をモットーに取り組んでいます。

「求めるひとつ先」の具体例として、ハチ駆除に保証を付ける取り組みを挙げてくださいました。駆除完了後、そのシーズン中に同一敷地内で再びハチの発生や巣が確認された場合（巣の場所やハチの種類が異なっても）無償で対応するというものです。これは他社との差別化になるとともに、お施主様の安心感を大きく高める施策です。再発時に別途請求しないという点は消費者にとって大きな安心材料であり、リピーターが増えるのも納得できます。

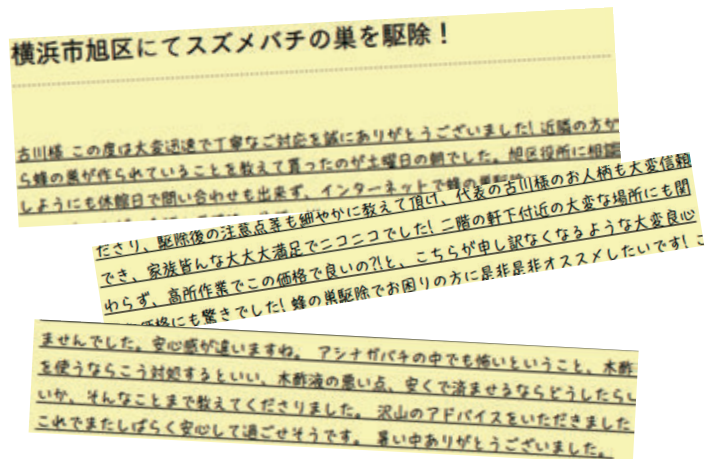
1日あたりは最低6件、多い日で10件以上の現場をこなすとのこと。この数年の豊富な現場経験が現在に生きており、作業効率の向上や無事故での対応につながっているそうです。

とはいえハチのシーズンは限られます。シーズンオフの取り組みについて伺うと、ネズミ防除にも取り組んでいるとのこと。まだ手探りの段階ではあるものの、ハチのお客様からの相談が多かったため断らず対応を進めているそうです。一方でネズミ防除は難易度が高く、苦戦する面も実感していると話されていました。

そこで古川代表は、実際にネズミを飼育して研究することにしました。飼育を通じて多くの発見があり、特に好む餌づくりが現場で非常に役立っているそうです。現場では確実に喫食させるための効率的な餌の設置など、無駄のない対応に感心しました。まだ勉強中ですが、ネズミ防除の対応

エリアを広げ、経験を積みながら事業を成長させていきたいとのこと。ハチのシーズン以外でもネズミビジネスをしっかりと確立していくという意気込みは、まさにプロフェッショナルです。年中忙しく駆け回る毎日かと思いますが、どうかお体には十分お気をつけください。

会社のサイトにはお客様の声が多数掲載されています。



左：古川代表 右：従業員

会社情報

会社名 救急隊.com Kanagawa
入会 2023年(令和5年)6月1日
設立 2020年4月
所在地 神奈川県大和市鶴間1-31-28
代表者 代表 古川 和明
事業内容 ハチ駆除専門